



EPADsスペースエレクトロニクス実装技術研究会主催 2025年度 第2回公開研究会

◆公開研究会のご案内

部品内蔵技術委員会（EPADs）スペースエレクトロニクス実装技術研究会の本年度第2回の公開研究会を2026年3月25日（水）に開催いたします。研究会テーマは、【ロケット・衛星および月面等の、宇宙環境下で使用される製品への民生品適用と課題】です。6名の講師による講演を実施します。是非ご参加ください。

開催日時 2026年3月25日（水）13：10～17：15

開催方式 現地開催 & WEB (Zoom Webinar利用) ハイブリッド
開催場所：回路会館地下1F会議室

※参加URL等の聴講情報は、申込受付時のメールにてご連絡致します。

13：10～13：35

オープニング

開会挨拶 スペースエレクトロニクス実装技術研究会での活動内容等の紹介
スペースエレクトロニクス実装技術研究会 主査 中山聡、幹事 竹政哲

13：35～14：10

講演①「民生部品・技術の宇宙適用プロジェクト(SERVIS)の紹介」

一般財団法人 宇宙システム開発利用推進機構 (JSS)

衛星観測事業本部 技術開発部担当部長 岡 範全(のりあき) 様 [現地講演]

<概要>

宇宙環境信頼性実証システム (SERVIS)は、経済産業省の監督の下でJSSが実施したプロジェクト。本プロジェクトでは、我が国が得意とする民生部品・技術を適用して実証衛星の開発・運用・評価を行い、これらの成果を反映し民生部品・技術を宇宙環境下で使用するための知的基盤としてデータベース及びガイドライン類を構築した。これにより我が国の宇宙産業の裾野を広げ、世界市場での競争力確保を目指した。本講演ではその概要を紹介する。

14：10～14：45

講演②「小型衛星搭載電子機器の開発と製造課題(仮題)」

株式会社アクセルスペース

Axel Liner事業本部/汎用衛星プラットフォームグループ/通信系ユニット 須藤 順平 様 [現地講演]

<概要>

弊社の事業概要と進行中の衛星プロジェクトを概説したのち、一例として担当の通信機開発における実録を共有します。設計から試験まで広範に携わる中で直面した、回路設計や実装工程の具体的な試行錯誤を説明し、システムメーカーの視点から宇宙用電子機器での苦労する点を共有し、基板・実装業者様へ期待する連携のポイントを明確にすることにより、より強固な協力体制の構築を目指す。

14：45～15：20

講演③「安藤ハザマの「宇宙シェルター構想」に関する取組のご紹介(仮題)」

株式会社 安藤・間 技術研究所 原子力・放射線研究部

副主任研究員 田中 聖一朗 様 [現地講演]

<概要>

月には大気や磁場が存在しないため、宇宙放射線が直接降り注ぐ。そのため、月面での被ばく線量は地上の数百倍に達する。特に、太陽フレア発生時には大量の粒子線が降り注ぎ、人体への急性障害や機器の故障等が懸念される。安藤ハザマは建設会社として、宇宙放射線等の過酷な月面環境から人や機材を守り、安心・安全な空間を創出することを目指している。本公演では、構想の一つである「宇宙シェルター」に関しての取り組みを紹介する。

(休憩 15分) 15:20～15:35

15:35~16:10

講演④「次世代パワー半導体の宇宙適用について」

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

研究開発部門 第四研究ユニット研究開発部門 第四研究ユニット(4U)

水田 栄一 様 [現地講演]

<概要>

SiCやGaNをはじめとする次世代パワー半導体は、従来のSi半導体に比べて大幅な低消費電力化、高耐圧化が可能である。ロケットや人工衛星に次世代パワー半導体を適用すると、太陽電池パドルや蓄電池、電力分配器等の電源コンポーネントが小型軽量化され、代わりにミッション機器を増加させたり、燃料増加による寿命延長なども可能となり、非常に大きな効果が望める。本講演では次世代パワー半導体を宇宙適用する際の課題について紹介する。

16:10~16:45

講演⑤「宇宙人材を全国から発掘育成する教材開発とカリキュラムの実践報告(仮題)」

一般社団法人 e-kagaku 国際科学教育協会 代表理事

北原 達正 様 [現地講演]

<概要>

2025年に宇宙へ放出した1Uキューブサットe-kagaku1愛称IWATOはJAXAとの共同研究の元、世界発のコーナーキューブリフレクターを搭載した超小型衛星である。そのため、設計、部品選定、回路、プログラミング、試験、申請などすべてをオリジナルで行う必要があったが、この作業は全国から選抜した小学生から大学院生延べ約40名で行った。このような10代からビジネスレベルに達する人材育成のメソッドについて紹介する。

16:45~17:15

講演⑥「月面での半導体製造(仮題)」

(株)ispace 講演者選任中

<概要>

(株)ispaceで検討している、月面での半導体製造構想について紹介する。

参加要項 ※プログラムは変更になることがありますので、ご了承ください。

定員 回路会館地下1F会議室：50名(先着申込順 定員になり次第締め切ります)
WEB (Zoom Webinar)：200名(先着申込順 定員になり次第締め切ります)

参加費(消費税込み)

正会員：5,000円、学生会員：1,000円、研究会会員：別払い、シニア会員：2,000円
名誉会員：無料、賛助会員の社員：5,000円、賛助会員(クーポン利用)：無料
非会員一般：10,000円、非会員学生：2,000円、協賛団体(JPCA会員)：5,000円

注意事項(参加方法)

- ①申込が受理されますと、返信メールで公開研究会への参加 URLやお支払いに関する情報をご連絡いたします。
- ②ご申請の手順に従って、参加費のお支払いをお願い致します。
(お支払い方法：クレジットカード決済またはコンビニ決済のみ) (手数料学会負担)
- ③領収書(宛名会社名選択可)のご発行は、返信メールのマイページから決済後に即日出力が可能です。
- ④WEBの領収書が原紙扱いになりますので、ご了承ください。
- ⑤賛助・特別クーポンは、1枚/1口まで(複数口の場合は口数分)利用可能です。申込時にクーポン番号等の全項目を記入しないと、利用できません。※複：枚使用希望がある場合はお問い合わせください。
*キャンセルポリシー：お申込み後のキャンセルはできません。

下記から参加申し込みをお願いします。

会員

賛助会員

協賛会員

非会員

※クーポン使用の場合は「クーポン利用」をご選択ください。

問い合わせ先 一般社団法人エレクトロニクス実装学会

E-mail : info@jiep.or.jp (メールアドレスは¥を@に置き換えてください)